

# 香取地域農林業振興方針のロジックモデル

次世代に向けて力強くはばたく香取の農林業の実現

## 具体的な行動

## 行動の結果 (KPI)

## 成果 (中間アウトカム)

## 目標 (最終アウトカム)

### 担い手の育成に向けた支援

- ・高い経営能力を有する担い手の育成
- ・新規就農者（栽培者）の掘り起こし

### 経営規模拡大に向けた支援

- ・防除等の作業委託の仕組みづくり
- ・担い手への農地集積等

### 生産量の維持・拡大に向けた支援

- ・輪作や緑肥の導入
- ・専用貯蔵庫や予冷庫等の導入
- ・機械化体系の確立・労力の確保
- ・夏季の高温乾燥対策

### 輸出の更なる拡大に向けた支援

- ・貯蔵庫の活用
- ・新規輸出国の開拓

### さつまいもの栽培面積

R7 : 679ha → R11 : 690ha

### さつまいも栽培面積が10ha以上の経営体数

R7 : 15戸 → R11 : 18戸

### 専用貯蔵庫を新設又は増設した生産者数

R7 : 0戸 → R11 : 5戸

### さつまいも及びびいも加工品の輸出量

R6 : 176t → R11 : 300t

### 露地野菜産地の維持・強化のための大規模経営体の育成

- ・担い手の農業経営力の向上
- ・担い手の確保・育成
- ・多様な労働力の確保
- ・作業の効率化
- ・連作障害の回避・空洞症対策の確立
- ・担い手への農地集積・集約
- ・荒廃農地の解消・発生防止
- ・ブランド化の推進
- ・輸出量の拡大

### 担い手が生産量・品質を維持し、安定して消費者から選ばれる産地

### 大規模経営体の育成に向けた支援

- ・スマート農業の導入
- ・需要に基づく新規需要米の生産

### 高温対策の推進

- ・倒伏に強く収量性が高い高温耐性品種の普及・定着

### 需要に応じた米の生産・販売の支援

- ・実需者ニーズに応じた米の生産と安定取引

### 水田の有効活用に向けた支援

- ・ねぎ等の高収益作物等の導入支援

### 新たな担い手の育成に向けた支援

- ・地域計画の実現及び見直しの支援
- ・担い手への農地集積・集約化
- ・需要に応じた米生産の推進

### 担い手の経営安定に向けた支援

- ・機械・施設の整備計画の作成と導入
- ・基盤整備後の営農に関する情報交換
- ・飼料用米専用品種の拡大と収量向上
- ・収入保険等の加入促進、人化や雇用の確保

### 効率的な営農に向けた基盤整備の実施

- ・スマート農機を最大限に活用できる基盤整備
- ・高収益作物栽培に必要な排水対策

### 30ha以上の経営体数（水稲）

R7 : 39ha → R11 : 45ha

### 担い手の経営耕地面積が全農地面積に占める割合

R7 : 38% → R11 : 60%

### 県内一の水田農業を担う大規模経営体の育成

- ・担い手の確保・育成
- ・作業の効率化
- ・高温対策の確立
- ・担い手への農地集積・集約
- ・ブランド化の推進
- ・米及び新規需要米の安定生産

### 大規模経営体や集落営農組織等の営農による優良な水田の維持

・農地の集約化及びスマート技術が導入された効率的な食料生産が行われている。

### 集落営農組織の設立件数

R7 : 187件 → R11 : 190件

### 新規基盤整備事業化面積

R7 : 4,632ha → R11 : 4,741ha

### 水田の基盤整備と新たな担い手の育成

- ・担い手の農業経営力の向上
- ・担い手の確保・育成
- ・作業の効率化
- ・担い手への農地集積・集約
- ・米及び新規需要米の安定生産
- ・被災後の早期の営農再開

### 担い手が優良な水田で、需要に応じた米や高収益作物を栽培し、安定した農業経営を展開

### 収益力の高い畜産経営体の育成支援

- ・補助事業を活用した施設整備や機械導入
- ・スマート技術を活用した生産管理
- ・後継者の経営管理能力の向上
- ・耕種農家の堆肥の活用

### 自給飼料の安定確保と生産拡大支援

- ・自給飼料生産に必要な機械の導入
- ・家畜ふん堆肥の地域循環のための耕畜連携
- ・水田や耕作放棄地等の利用（飼料用米、飼料作物の作付け・利用の拡大）
- ・適期収穫をするための品種選定
- ・飼料生産コントラクターの作業体系の改善

### 省力化機械の導入件数

R6 : 24件 → R11 : 29件

### 飼料の生産面積

R7 : 545.5ha → R11 : 555ha

### 自給飼料の安定生産と収益力の高い畜産経営体の育成

- ・担い手の農業経営力の向上
- ・担い手の確保・育成
- ・作業の効率化
- ・担い手への農地集積・集約
- ・自給飼料の安定生産
- ・地域資源の有効活用
- ・荒廃農地の解消・発生防止

### 経営規模に応じたスマート技術を導入し、生産性の向上と省力化を実現した経営を展開

・自給飼料の生産・利用を拡大し、輸入飼料の価格に左右されない安定した経営を展開

### 山地災害対策の推進

- ・山地治山事業による山地災害対策の推進
- ・治山施設の長寿命化に向けた対策工事等

### 森林整備の促進

- ・林業事業者等による森林整備への支援
- ・森林環境譲与税を活用した森林整備等への支援

### 被害森林の復旧と未然防止の推進

- ・令和元年度房総半島台風等による倒木被害森林の復旧
- ・倒木被害の未然防止につながる森林整備の支援

### 森林整備面積

R6 : 12.7ha/年 → R11 : 52.9ha/4年

### 適切な森林整備の促進

- ・山腹崩壊等の災害の軽減
- ・計画的・効率的な森林整備の実施
- ・森林の有する多面的機能の発揮
- ・担い手の確保・育成
- ・県産木材の利用促進
- ・倒木被害森林の復旧、未然防止
- ・適正な林地開発行為の実施

### 適切な森林整備の促進や治山施設の整備等により災害に強い森林が整備されており、森林の持つ多面的機能が適切に発揮